

バリ・層剥離少なく

CFRP 仕上げ加工用 長寿命エンドミル

東京ダイヤモンド工具

東京ダイヤモンド工具製作所（東京都目黒区、濱田喬社長、03・3723・8111）は、炭素繊維強化プラスチック（CFRP）の仕上げ加工用ダイヤモンド製エンドミル「DTFC」を開発した。刃先に単結晶ダイヤモンドを使うことで鋭い切れ味を実現。バリや層剥離が発生しやういCFRPをきれいに削れる。さらにダイヤモンドで硬度が高く、長寿命化が見込める。現在、アークと共同で開発品の評価を実施しており、2017年中の製品化を目指す。

DTFCはバリや層剥離を少なく削れるのが特徴で、手加工によるバリ取りなど最終仕上げの時間と手間を省く。機械で仕上げ加工する際使用していた工まで行えるため、加工精度も高まる。従来のエンドミルに比べて長く使える。再研磨も可能で、ランニングコストを抑えられるメ

リットがある。また、大きな加工対象物（ワーク）を仕上げるときも加工距離が長

く、要求品位によって工具交換が少なくて済む。高精度なCFRP部品の量産が行われるようになれば大きなニーズが見込めるとい

RPは航空機や自動車などの多分野で活用が見込まれているものの、材料が高価な上に加工が難しい。DTFCの製品化により、課題解決に道筋をつける。



バリ取りなどの手間を省ける「DTFC」